

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110

ひとつになって笑顔と元気を届けたい

たくでだいでんいっしょ

遠く離れた多久からも笑顔や元気を被災地に届けようと、東日本大震災復興支援チャリティーイベント『たくでだいでんいっしょ』が6月12日、多久市中央公民館で開催されました。

多久保育園児、多久ミュージカルカンパニーや他の団体が『心をひとつに届けよ みんなの願い』など、被災地に届けと思いを込めながら、小さい子どもたちから大人まで舞台いっぱいパフォーマンスを繰り広げました。舞台以外でもパンなどの物品販売など、幅広い分野の団体がそれぞれに行っていた支援を、ひとつになって参加。孔子の里獅子舞の川原田知章さんは「被災地には継続して支援が必要。今回、日程が

合わなくて参加できなかった団体も一緒に、これから2年、3年と続けたい」と話しました。

▶ イベント参加メンバー



やくみつるさんも絶賛！ 女山大根アイス“乙女のころろ”

2010 一村逸品 金賞を受賞

2010一村逸品大賞前期優秀賞に輝いた加工品として昨年10月号本誌でも紹介していた「多久市ふるさと情報館 幡船の里」が開発・販売している女山大根アイス“乙女のころろ”が年間審査で大賞に次ぐ金賞に選ばれ5月23日、船津忠伸会長が日本農業新聞社本社（東京秋葉原）で表彰を受けました。

「一村逸品」は、各地の農産物加工品づくりや直売所を応援することを目的に同新聞紙面で産品を紹介しているもので、年間217産品の中から大賞1点、金賞2点、優秀賞3点を表彰。「乙女のころろ」は、「女山大根をミキサーで細かくし、少量の紅芋パウダーなども混ぜ合わせて上品に仕上げている。淡いピンク色で、やや繊維質のある食感と豊かな風味が好評を得ている。地元農産物を活用しアイデアにあふれた個性的な加工品。味も秀でた優れた商品」と功績をたたえています。船津会長は「女山大根を全国にPRできた。今後も多久の伝統野菜を作って、販路拡大をしていきたい」と喜びました。



大根のほどよい味やネーミングのよさも評価したやくみつる
審査委員長と船津会長

納所のおいしいピワ いかがですか～！

納所小の5、6年生17人が、JA 納所支所で特産品のピワをPR販売しました。『納所のよさ発見』をテーマに、ピワについて学んでいる総合的な学習の一環で行ったもので、児童は「納所ピワのおいしさを知ってほしい」と、手作り看板などを持って、元気よく呼び込んでいました。来客は「地元の特産品を題材に、熱心に勉強している姿が見れてよかった。地元愛をはぐくむ良い取り組み」と話しました。



6/16

ボランティアガイド 養成講座開催中！

多久の歴史、文化を学ぶ『ボランティアガイド養成・多久観光講座』が4月18日にスタートし、10月2日までの日程で開催中です。3回目の6月8日は16人が受講。地元で聖心房人形を営んでいる倉富博美さんや論語教室講師の武田耕一さんが講演し、「多久聖廟や東原産舎の歴史的なことを学び、多久の良さを知ってガイドに活かしてほしい」と教授。

次回の開催は7月14日。講座に関心のある方の参加を歓迎しています。商工観光課に問い合わせください。



6/8